

會津価値創造フォーラム主催「生活と工芸展」実績報告

1. 開催概要

生活工芸品には作り手の想いが込められています。このイベントでは、「ヒト・モノ」をツインにした新しい展示スタイルで展示・販売します。

初めての取組みの今回は当フォーラムがセレクトした会津の工芸品を展示しました。

会津の工芸品を身近で楽しむために、会津らしい空間を楽しめる「末廣酒造嘉永蔵」を会場とし、日常に取り入れることができる厳選したオリジナル商品や既存の工芸品を組み合わせ提案。また、会津漆器協同組合のご協力により、今年開催した東京ドームでの「テーブルウェアフェスティバル 2016」出展品の凱旋展示を行いました。展示品の魅力を最大限に引き出すために、「テーブルウェアフェスティバル」の仕掛け人であるオフィスイマダ・今田功さんに展示プロデュースをお願いしました。

- タイトル 「生活と工芸展 会津の“手仕事”集めました」
- 日 時 平成 28 年 3 月 19 日（土）20（日）21（月・祝） 10：00～17：00
- 会 場 末廣酒造嘉永蔵（福島県会津若松市日新町 12-38）
- 主 催 會津価値創造フォーラム
- 後 援 福島県・会津若松市・喜多方市・下郷町・桧枝岐村・只見町・南会津町・北塩原村・西会津町・磐梯町・猪苗代町・会津坂下町・湯川村・柳津町・三島町・金山町・昭和村・会津美里町・会津総合開発協議会
- 協 力 ゼビオ(株)、オフィスイマダ、(株)スカイ・モーション、末廣酒造(株)、NPO法人会津地域連携センター、会津漆器協同組合、会津本郷焼事業協同組合
- 展 示 会津漆器・会津本郷焼・編組細工・会津木綿・木工 など
- 実演・ワークショップ・トークショー
 - 3月19日（土） からむし織り・ストラップづくり
（昭和村振興公社・舟木容子さん）
 - 3月20日（日） 奥会津編み組細工・ヒロロのコースターと山ブドウのストラップづくり（舟木トメ子さん・菅家藤一さん）
 - 3月21日（月） 桐の粉人形制作
（木之本漆器店・菊地由美子さん、慶徳千晶さん）
 - 3月19日（土）「日本酒と器」をテーマにトークショー
（末廣酒造・新城猪之吉さん）

2. 実績

- 来場者数 1,500人（3日間のべ※当初目標数1,000人）
- 売上金額 237,148円（3日間合計。内訳：からむし織出展者直販92,450円、ほか委託販売144,698円）

この度当フォーラムが主催いたしました「生活と工芸展」につきまして、温かいご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、3日間開催述べ1,500の来場者にお越しいただくことができました。

会津地方の生活文化から生まれた機能的で美しいデザインの品々や、体験型ワークショップでの学び、そして、会津の伝統工芸が現代に磨き上げられた逸品を通して、会津地方の魅力を発信し、この強みこそが誇りであることを学びました。

3. 来場者の声（参加者メンバーへのアンケートより）

- ・場所の雰囲気良かった
- ・案内係がないとどこに行けば良いかわからなかった。
- ・面白かった、感動した、という反応の方が多かった印象
- ・一部、目新しい物がない、という目の肥えた方もいた
- ・会津に住みながらこんな商品があるのが知らなかった。
- ・曲げわっぱを実際に購入したいので連絡先を教えて欲しい。
- ・マストロ・ジェペットを子どもの教育で購入したいけど売ってもらえないのですか？
- ・テーブルウェアの展示品の作品コンセプトをもっと教えてもらいたい。
- ・会津漆器の由来は？
- ・会津木綿の刺し子は、木綿から作っているのか、刺し子のみなのか？
- ・東京で販売をしたいので作り手を紹介して欲しい。
- ・来年も開催して欲しい。
- ・即時購入できるように改善して欲しい。
- ・もっと作り手と対話できるような展示会にすれば更に魅力が発信できると思うよ。
- ・編み細工は、三島町で展示販売会を行うけど、そこの連動はしているのか？
- ・会津漆器を給食の器として使用しているのは食育としてもとても素晴らしい。
- ・この商品を作っている場所へ行きたいので教えてください。（鈴蘭）

- ・会津桐のまな板を購入した方が Facebook に投稿して、サイズや購入方法など問合せコメントが 20、200 いいね！を超える反響でした。
- ・その他にも、展示品を見て、作り手の会社へ訪問した等の記事も多数見受けられた。
- ・（お客様の反応として）綺麗に展示されていた。
- ・（お客様の反応として）会津にはあまりないイベントでストレス解消になった。
- ・（お客様の反応として）漆器の展示のお店がどこにあるかわからない。
- ・（お客様の反応として）からむし織、ぶどうヒロロなど、なかなか行けない奥会津のものに触れられる機会は嬉しい。
- ・イベントに行った人から聞いた話です。会場が狭く、人が多く集まると、じっくり見ることが出来なかったそうです。
- ・地域のものづくりに詳しいせいか、選定される作品が決まりきっているように感じます。認知度がまだ低くても原石のような作家、作品をどんどん掘り起し、光を当てるコーディネーターの存在が必要と思います。

<ワークショップ講師からの声>

- ・実演のスペースは丁度良く、やりやすかった。
- ・(WS) 場所が狭いため、奥の方に座った方へ教えづらい。
- ・(WS) 話しやすい机イスの配置（半円での配置が望ましい）

4. フォーラムメンバーの感想・意見（アンケート結果）

【よかったこと】

- ・まずは 1,500 人？の来場者数をもって盛會に終えたことを嬉しく思います。
- ・反省改善はもちろんあるとしても、フォーラムの一員として生活と工芸展に携われたことは胸を張れることです。本当にお疲れ様でした。
- ・パンフレットの配布、会津若松市政だよりと一緒に市内全戸に案内出来たこと、
- ・観光案内所以外のパン屋さん・・・等にも DM 置いて頂け PR になり良かった。
- ・嘉永蔵の会場は、これまで「あいづまちなかアート・漆の芸術祭」でいろいろ展示なさっていましたが、今回素敵な広いギャラリーが会津若松市内に誕生したこと、これからのイベントに期待します。
- ・ものづくりに興味お持ちのお客様、編み組み・からむし織・会津木綿・漆器・・・等、会津ドームのものづくりフェアもご覧になったと中年の女性のお仲間、お話しなが

ら楽しそうにご覧下さいました。

- ・会期中、新聞・TV・・・等 マスコミの影響は大きいと思います。
- ・講演と体験コーナー 準備・・・等 大変だったと思いますが、身近にお話・作業出来て喜ばれたことでしょう。
- ・思ったより若い世代の入場が少なかったように思えます。今回、フォーラムの若いメンバーの方々が一生懸命携わって居られましたが、友人・知人・家族・・・等ご覧になりましたか
- ・中年好みの展示、中年層は嬉しいことですが、若い世代が好む伝統工芸品は何でしょう。
- ・3日間で1,500人の入場者、素晴らしいです。近年、会津町方伝承館で5～6日間展示しても数百人程度、嘉永蔵の展示会は魅力的でした。
- ・スタッフの人数は適当だったと思います。駐車場、案内で5人、会場内で4人、フリーで4人、概ね13人～15人が適当かと思われます。(会計は別人数)
- ・展示会の準備から当日の手伝いや後片付けまで、皆さん一生懸命で素晴らしい展示会だったと思います。また、今田さんをはじめ講師陣のアドバイスがなければ、ここまでの完成度は無かったと感じています。来場者からも様々な意見はありますが、来年もやって欲しいという意見しかありませんでした。まさに、会津の価値再発見の場であったのではないのでしょうか。ぜひ来年度の事業としても実施して、様々な角度から価値を創造するよう期待しています。
- ・会員で力を合わせて、ひとつのイベントを実施できた
- ・工芸品や展示会に関する知見が得られた
- ・テーブルウェアフェスティバルの出展作品は、予想以上に高級感があり、みていて面白かった。
- ・来場者について。工芸展がどのくらい興味を引くか、特に地元のモノを地元で見ることに人が集まるか不安でしたが、来場者が1500名も来てくれたことがとても良かった。
- ・嘉永蔵で開催できたこと。生活と工芸展というテーマで、会津地方の伝統あるモノを会津の伝統ある酒蔵で展示できたことは、会津の価値を創造する上で、非常に意義があることと感じています。
- ・ワークショップや実演があったことは、来場者へ作り手の思いやモノを伝えるうえで非常に有効な役割を担ったと思います。
- ・販売について。少しばかりでしたが、来場者が欲しいものを購入できたことはとても良かったと思います。
- ・展示品について。漆、焼物、桐、わっぱ、木綿、からむし織り、編み細工と、会津地方から多くのモノが展示され、しかも、どれも魅力的で欲しいと思うものがこんなにも多くあることを、会津に住みながら知らない部分が多く、とても良い気付きと

なりました。

- ・空間レイアウトについて。会場の備品やカーテンなど、事前ではどのようなレイアウトになるかイメージできなかつたのですが、仕上がった会場を見て、とても素敵であり、今田先生が持っていたイメージが始めて伝わりました。あのような会場で展示会が出来たことがとても良かったです。テーブルウェアフェスティバルへも是非行ってみたいです。
- ・会津桐与会津木綿が購入できてよかったです。欲しいものがその場で手に入るにはうれしいですね。
- ・入口のお花について。開催日が彼岸、春に入りという中、会場入口に桜や素敵なお花がディスプレイされていたことは来場者へとても良い印象を与えたと感じています。
- ・会場の雰囲気が良かった。イベントホール、体育館などとは違った良さがあった。
- ・それぞれ皆さんが臨機応変に動かされていて、大きなトラブルもなく終わったことが何よりだった。
- ・會津価値創造フォーラムが勉強の場だけで終わることなく、学びの場から実際に事業化して形に出来たことは、自らの視野を広げる意味でも非常に良い勉強となりました。結果としては、携われてよかったですと思っています。
- ・一度にたくさんの会津の名産品を見ることができて、とても贅沢な展示会でした
- ・お客様から会津での販売会の要望が多かった
- ・また機会があるなら是非参加させていただきたいです

【反省・改善】

- ・そもそものコンセプト等をフォーラムメンバーで深く議論できなかつた（今田先生のイメージを実現するにとどまつた）
- ・当日に想定していたオペレーションが変更になるなど、調整しきれない点が生じてしまい、結果、協力してくれた事業者の方へ迷惑をかけてしまった
- ・主で取組んだ会員とそれ以外の会員との温度差が大きい点（どうやって、より多くのメンバーを巻き込むのが課題。。）
- ・来場者アンケートを取れなかつた点。（作っていたとしても、記載台のスペースが設けられなかつたかも。。）
- ・準備に向けた業務分担の偏りが激しく、特定の人ばかりが仕事をしていた。
- ・事務局会議の時間が長すぎて出席者の負担が大きい。
- ・イベントの目的や趣旨など、最も根本的な部分を多くのメンバーで決めることができなかった。また、事務局として決めた目的や趣旨を、参加メンバーに伝えることが

できなかった。

- ・展示がメインなのか、販売がメインなのかははっきりしなかった。そのため、初日や2日目は販売が低調だったように思う。
- ・予約販売という形にするなら、連携センターの職員は最終日以外不要だったと思う。
- ・今回は、初めての開催にもかかわらず、人が多くいたが、品物を実際その場で購入していた人は少なかったように感じる。また、展示している物なのか、購入できる物なのかがわかりにくかったので、次回開催するならば、検討が必要かと思った。
- ・何人か同じ意見を耳にしましたが、販売と展示のブースを分けるべきだったのかなと感じました。参考出品でも値段を設定したものもあり、混乱しやすかったように思います。
- ・ブース分けのイメージは美術館や博物館です。出入口付近に販売コーナーを設けて、展示スペースは実際に販売する商品を使った生活スタイルの提案や展示のみの製品を置くようにするものです。展示スペースのボリューム感不足が懸念されますが、これは三次元的に空間を使うことで解決できればと考えています。
- ・初日、二日目の予約販売方式は手を出しづらくなる要因だったと思います。
- ・案内するまで商品を買えると思っていなかった来場者がそれなりにいると感じました。おそらくポスター等で展示という言葉がよく目についたからなのかなと思います。
- ・会場で商品について細かい説明ができず、全体的に勉強しておくべきでした。
- ・もし、来年度も同じように展示販売会をやるのであれば、今年度よりさらにスムーズにいくと思いますし（役割分担を早期に明確化→多くのメンバーに作業を割り振れる→一人ひとりがフォーラム員として活動しているという一体感）もっと質のよいものになると思います。
- ・会場は嘉永蔵のような雰囲気のある場所で正解だと思いますが、同程度の来場者を見込むならもう少し広い方がいいかもしれません（ワークショップの場所が若干狭かった）
- ・商品説明や案内の方法について、ノウハウを学ぶ機会があればと感じました。
- ・来場者アンケートはぜひ実施しましょう。
- ・非売品も多かったのですが、商品と価格を見比べながら「素敵ね！」といつかお求め下さるのでしょうか。いろいろな問題もあると思いますが、すべて販売できたらお客様も欲しいもの我先に予約なさったのではないのでしょうか？
- ・製作者に直接予約して販売できる。←自分の考え方（予約販売の定義の相違）
- ・会津地域連携センターに予約して販売する。←連携センターの考え方（予約販売の定義の相違）
- ・次回、来場者アンケートの実施してはどうか
- ・この商品が買えるのか、買えないのか、この場で買えるのか、予約すれば買えるのか、がわかるような案内表示が必要

- ・販売について。販売と展示の棲み分けが不明確でした。販売といいながらも展示品限り、展示品は販売不可能であったり、あれだけの来場者が来た中、もったいないと感じました。もっと、ルールを明確化するべきだと思います。
- ・メンバーについて。フォーラムメンバーの係わりが少なかったように感じました。もっとメンバーを巻き込めるように、役割を振って参加してもらうことで、今回開催の意義が共有できたと思います。
- ・当日までの流れについて。当日まで、何をどうしていきたいのかが不透明でした。同様ですが、もっとメンバーへ内容を周知してもらい、役割を明確化して欲しいです。
- ・作り手の参加について。会津漆器にしても本郷焼にしても、あれだけ素晴らしい商品が並んでいるのに、それを伝えられないもどかしさがありました。作り手にも参加してもらい、商品を説明してもらえれば、より多くの魅力を伝えられたと思うし、販売もしてもらいたかったです。
- ・作り手にも参加してもらい継続していきたい。
- ・販売方法を明確化して、即時購入できる仕組みをつくりたい。
- ・会津の食と連動して、実際に生活に密着したスタイルを発信していきたい。
- ・会津の飲食関係のマスターや女将に参加してもらい、会津の食とコラボしたワークショップをしてみたい。
- ・今度は、生活と工芸をどうしていくかという会議に特化して、このイベントを進化させていきたい。
- ・販売と展示のエリアがわかることができれば良いと思った。(今後につなげる)
- ・開催時、留守にしていたため何のお手伝いも出来ず申し訳ありませんでした。
- ・役割分担表等を見て、たくさんの方が協力しているのに申し訳なかったです。
- ・原点に立ち返り、工芸展のコンセプト（フォーラムとして、誰に何を伝えたいのか）をきちんと議論してから準備に入る必要がある
- ・フォーラムの組織として「できること」「できないこと」、行政の「できること」「できないこと」、民間の方が「できること」「できないこと」をそれぞれ出し合い、整理してから事業計画や役割分担、準備を行う必要がある
- ・作り手の方を企画段階から巻き込み、主体的に参画できる展示会にしてはどうか
- ・ワークショップが人気だったので、頻度を増やしたり、より本格的な内容のものを織り交ぜたりして、より発展させたい
- ・工芸品を生活の中にどのように取り入れていけるのか、ということ事例やWSなどを通じて提案していくことも必要ではないか
- ・プライベートとして参加するには、負担が大きすぎる。100%参加するには、片手間では困難。職場の理解も得られない。
- ・メンバーに任せるのか、事務局でしっかり決めて進めるのか、はっきりしない。
- ・生活と工芸展にしても、フォーラムの活動にしても、取り組み自体はとても有益でか

つてないものだと思う。ただ、自治体と民間の連携事業であることに加え、仕事でもプライベートでもないという活動の性質上、どのように進めていくのが難しく、その難しさにメンバーが振り回されてしまっているように感じる。

- ・初回の会津木綿にかかわる講演会にお誘いを受けて参加し、そのまま続けましたが、「自治体と民間の若手による連携事業」との趣旨であり、そもそも自分か参加する会ではなかったのかと思いました。
- ・協議会事業で伝統工芸、ものづくりについて数年かかわっていたことから、続けて参加させていただきましたが、工芸展が具体化してくると本業との両立が困難になり尻すぼみになってしまいました。(有休を取っての参加でした)
- ・伝統工芸や、地域で意識の高い方々とのかかわりは良いことだと思います。
- ・今後、何かの機会にお手伝いできることがあればと思います。
- ・在庫数が少ないため、初日から販売することができず、観光客に販売することが難しかった。
- ・会場内の照明が全体的に暗く、商品が見つらい。(特にレジ横商品が見えづらかった。)
- ・販売可能の商品が分かりづらかったため、商品自体に値札がついていた木綿商品が主に売れたのではないかと思う。
- ・初めから納品書は検品用に仮伝票扱いにし、販売した分で本伝票を発行していただくほうが分かりやすいように思う。(各業者様の連絡先が分からないため、販売がなかった場合の処理に困った。)
- ・納品書の宛名違い、振込先の記載が無い業者様が多く、イベント後の処理に困った。
- ・今回は追加注文がほとんど無かったが、業者様の連絡先一覧があるほうが良い。
- ・ワークショップの定員をチラシに記載してほしいとお客様に言われた。
- ・ワークショップの作成キットを販売できるようにしておけばよかった
- ・もっと実演の時間があるとよかった
- ・生活と工芸展は、会津の逸品を会津で発信するという、これまでにない切り口で発信できたと思います。それには、今田さん、杉原さんはじめ、その道のスペシャリストの方々が、外から会津を見る視点を注入してくださったことが多くの成果につながっていると思います。このような気付きや経験を自分のものとしていくためにも、フォーラムメンバーが自分のこととして参加できる体制づくりが必要かと思っています。勉強会も良いですが、このようなイベントを進化させていくための分会が全体会をフォーラムで出来れば意義があると感じています。